



明けまして



議長
伊藤 毅

明けましておめでとございます。
輝かしい新春を迎え、大館市議会を代表して、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

市民の皆さんには、日頃より議会運営に、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

振り返りますと昨年は、1市2町が合併し、新大館市が誕生した、本市にとって歴史に残る年でした。また、4年制大学と中高一貫教育校が開校し、平成19年秋田わか杉国体へ向けて整備してきた樹海体育館や高館公園テニスコートが完成し、全国で初のPFI方式によるごみ焼却場が稼働、さらに、市立総合病院のリニューアルがスタートするなど、これまで計画してきた各種事業などが結実し、新生大館市のスタートにふさわしく、この地域が新たな一歩を踏み出した年でした。

一方、地方を取り巻く社会経済環

境は、一部に景気回復の動きがあると言われてはいますが、依然として厳しい状況です。地方の財政事情は、税収減や地方財政対策による地方交付税の大幅な削減により厳しい財政運営を強いられています。また、国が進める三位一体改革や地方分権の推進により、地域のことは地域自身で考え、その責任において地域社会をつくり上げていくことが求められています。こうした状況下では、地域の方・市民の皆さんの力が市政発展に重要な役割を果たすものと考えています。

大館市議会といたしましても、創意と英知を結集し、行財政改革や中心市街地活性化、地場産業の振興、少子高齢化対策などの重要な諸課題に全力を挙げて取り組む所存です。地域の産業・経済の活性化を図り、安心して暮らせるまちづくりに向けて頑張っていきますので、市民の皆さんの変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後に、迎えた新年が市民の皆さん並びに大館市にとって、最良の年となりますようご祈念し、新春のごあいさつといたします。

